

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年11月7日

上場会社名 株式会社朝日ネット 上場取引所 東
 コード番号 3834 URL https://asahi-net.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土方 次郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 小松 大 (TEL) 03-3541-8311
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	5,067	5.8	797	40.1	834	45.3	573	43.0
2019年3月期第2四半期	4,789	4.8	569	84.5	574	83.1	400	79.2
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期第2四半期	20.22		—					
2019年3月期第2四半期	13.54		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,747	9,422	87.7
2019年3月期	11,593	10,118	87.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 9,422百万円 2019年3月期 10,118百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
2020年3月期	—	9.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	7.8	1,600	26.1	1,600	25.3	1,120	17.6	39.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期2Q	32,000,000株	2019年3月期	32,000,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	4,138,579株	2019年3月期	2,394,579株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期2Q	28,343,707株	2019年3月期2Q	29,591,707株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

業界の動向

ISP（インターネット・サービス・プロバイダ）業界においては2019年6月末のFTTH（光ファイバー）の利用者数は前年同期比124万契約増（4.0%増）の3,203万契約となり一貫して増加しております。MVNOサービスの利用者数は前年同期比293万契約増（15.1%増）の2,230万契約となりました。そのうち高速モバイル通信やIoT（Internet of Things）/M2M（Machine to Machine）に利用されるSIMカード型の契約者数は前年同期比258万契約増（22.9%増）の1,385万契約と増加しております。

インターネット接続サービスの状況

インターネット接続サービスにおいては、引き続き法人顧客の需要が増加しております。2019年10月1日の消費税率引上げに伴う「キャッシュレス・消費者還元事業」に連動した店舗へのインターネット接続環境の設備投資や、年々増加する訪日外国人へのインバウンド施策として「無料Wi-Fi」を設置する宿泊施設・飲食店・公共機関の導入が堅調に増加しております。

サービスでは「AsahiNet 光」、「ASAHIネット マンション全戸加入プラン」等のFTTH(光接続)サービスの会員数が引き続き増加、「ASAHIネット WiMAX2+」やASAHIネット LTE「ANSIM」のモバイルサービスの会員数も増加しております。その結果、2019年9月末のASAHIネット会員数は前年同期末比6千ID増(0.9%増)の615千IDとなりました。

2019年9月より、他電気通信事業者へネイティブ方式（IPv6 IPoE）の通信帯域をローミング提供するサービスのブランド名を「v6 コネクト」としました。ネイティブ方式（IPv6 IPoE）によるIPv6インターネット接続機能に加え、オプションとしてIPIP方式とDS-Lite方式によるIPv4 over IPv6接続機能を提供しております。

教育支援サービスの状況

教育支援サービス「manaba（マナバ）」においては2019年9月末の契約ID数は前年同期末比15千ID増（2.3%増）の663千IDとなりました。2019年9月末の全学導入校は園田学園女子大学に導入いただき、前年同期末比3校増（3.7%増）の91校となりました。

第2四半期は「manaba」導入校に対する活用促進の施策として利用者向けサポートサイトのリニューアルを行いました。教員ユーザを対象に授業での活用方法を解説した講習会形式の動画や、質問に対する回答と活用提案や解説動画を組み合わせた提案型のFAQなど様々な活用支援コンテンツを制作して配信しております。

収益の状況

FTTHサービス、モバイルサービスの会員数増加、「v6 コネクト」の新規契約社数の増加と帯域幅課金の既存契約によるトラフィック量増加により売上高、営業利益共に増加しております。2020年3月期の事業計画に対してはほぼ計画通りに進捗しており、業績予想の変更はございません。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,067百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は797百万円（同40.1%増）、経常利益は834百万円（同45.3%増）、四半期純利益は573百万円（同43.0%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当第2四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産)

当第2四半期会計期間末の流動資産合計は7,937百万円(前事業年度末比1,055百万円減)となりました。また、固定資産合計は2,810百万円(同208百万円増)となりました。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の資産合計は10,747百万円(同846百万円減)となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の流動負債合計は1,323百万円(同150百万円減)となりました。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の負債合計は1,324百万円(同150百万円減)となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は9,422百万円(同695百万円減)となりました。

以上の結果、自己資本比率は87.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年5月9日に公表した業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,010	2,521
売掛金	1,622	1,667
有価証券	2,200	3,400
貯蔵品	70	199
その他	110	174
貸倒引当金	△21	△25
流動資産合計	8,992	7,937
固定資産		
有形固定資産	1,090	1,176
無形固定資産	359	413
投資その他の資産	1,151	1,220
固定資産合計	2,601	2,810
資産合計	11,593	10,747
負債の部		
流動負債		
買掛金	520	516
未払金	477	363
未払法人税等	374	262
その他	101	180
流動負債合計	1,474	1,323
固定負債	1	1
負債合計	1,475	1,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	630	630
資本剰余金	783	794
利益剰余金	9,545	9,851
自己株式	△1,017	△2,075
株主資本合計	9,940	9,201
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	177	221
評価・換算差額等合計	177	221
純資産合計	10,118	9,422
負債純資産合計	11,593	10,747

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,789	5,067
売上原価	3,369	3,359
売上総利益	1,420	1,708
販売費及び一般管理費	851	911
営業利益	569	797
営業外収益		
受取配当金	2	36
不動産賃貸料	2	2
その他	0	0
営業外収益合計	5	39
営業外費用		
自己株式取得費用	—	1
不動産賃貸費用	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	574	834
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	0	6
特別損失合計	0	6
税引前四半期純利益	579	828
法人税等	179	255
四半期純利益	400	573

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,800,000株の取得を行いました。また、2019年6月26日開催の取締役会の決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式56,000株の処分を行いました。この結果、当第2四半期累計期間において自己株式が1,057百万円増加しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。